城中は愉快だ宇都宮
UTSUNOMIYA

強く　賢く　美しく

あったか城山中

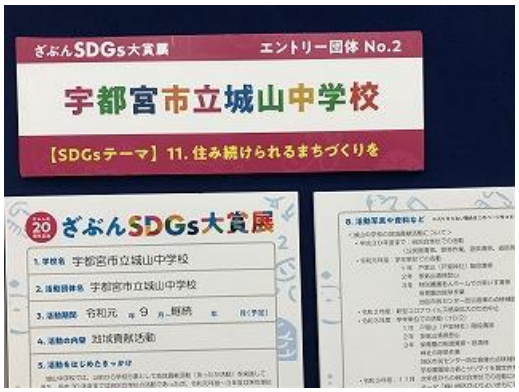
令和４年２月１５日
第１４号
文責：校長　新村雅司

〔城山中学校ホームページ（http://www.ueis.ed.jp/school/shiroyama-j/）では、カラーでご覧いただけます。〕

ざぶん賞×ＳＤＧｓ展を見てきました（校長のひとり言）

未来を創る子どもたちが取り組んでいるＳＤＧｓの内容を募集して、特に積極的に取り組んでいる団体を表彰する「ざぶんＳＤＧｓ大賞展」にて、城山中学校の「あったか活動」が紹介されています。

会場：栃木県子ども総合科学館　１階 企画展示室　　日時：令和４年２月１３日(日)～２０日(日)



「ざぶん賞」は、生命の源である「水」を主題に、「生命」「環境」の大切さを理解し、自助、共助の精神で行動できる若人の育成を目指して創設された事業です。今年は２０周年記念として、「ＳＤＧｓ大賞展」が開催され、本校を含めて８団体（児童養護施設ネバーランド、城山地域学校園（城山西小）、県立那須清峰高校の建設研究部、佐野日大中等部、清原中学校生徒会、県立佐野高校の Sano Glocal クラブ、芦屋市立精道中学校の CG･J）の取組が紹介されています。

城山中学校の展示内容は、SDGｓテーマ No.11「住み続けられるまちづくりを」の視点を加えた、令和４年度からの自治会単位の「あったか活動」へ向けた話し合い活動を紹介しています。城山地域学校園（城山西小）の展示内容は、城山西小学校児童・PTA・古賀志地区自治会・地元山岳会による古賀志山清掃登山（SDGｓテーマの NO.15「陸の豊かさも守ろう」）を紹介しています。

さらに同会場では「クリエイティブ・レインボープロジェクト壁画と七色土玉展」の中で、城山西小学校児童や県立盲学校生徒が制作した色鮮やかな陶器、清原中学校生徒による大壁画も展示されています。ぜひ時間の都合をつけて参観していただけると嬉しいです。

また見学中に、ざぶん賞北関東地区実行委員長を務める陶芸家：林 香君様（文星芸術大学 教授）とお話する機会がもてました。２０周年を迎えるざぶん賞の活動は、SDGｓに向けた取組と趣旨は同じであり、現在子どもたちが取り組んでいるSDGｓの活動を広く吸い上げて紹介することを通して、次にそれらの活動を県や企業と連携させて活動を支援できるよう橋渡しをすることを目指しているということです。

本校では『城山中学校 SDGｓ構想』を立ち上げて、生徒が地域住民と協働して地域の課題を解決する活動を通して、将来この地域をより魅力的に、より豊かにして、住み続けられる街づくりの担い手となることを目指しています。

今後ざぶん大賞展を縁に、様々な方（団体）との繋がりをもち、協力を得ながら、将来を担う生徒の育成に努めてまいります。

絵本を寄贈していただきました

上記の林 香君（はやし かく）様は、城山西小学校の特色ある教育活動「文化人の先生方の授業」にて、１７年間にわたり陶芸活動を指導している先生でもあります。

写真の本は、林様と児童養護施設ネバーランドにより２０２０年に共同制作した大壁画（宮沢賢治の童話「よだかの星」）を基に、２年間をかけて、子ども自身の手で壁画から写真をトリミングし、文字を打ち、編集し、校正して、絵本にしたものです。

「ひとりはみんなのために、みんなはひとりのために」というプロジェクトの目的が詰まったもので、先日の２月１０日に発行されたばかりの絵本「よだかの星」をいただきました。

図書室にて生徒が自由に閲覧できるようにしていきます。

城山中学校 SDGｓ構想（抜粋）

『中学生の時期に SDGｓを活用した学習に取り組む経験を積むことにより、地域と協働して課題解決に取り組み、他地域や他国の人々との交流に対して自信をもって対応できる人間の育成を目指す』

この構想は、次の３つの STEP を積み重ねることで実現を目指しています。

◇ STEP１：ＳＤＧｓを学ぼう＜令和３年度＞
◇ STEP２：ＳＤＧｓと城山地域の課題を繋げよう＜令和４年度＞
◇ STEP３：ＳＤＧｓの活動を発信しよう＜令和５年度＞

これ以降は、学年ごとに STEP１～３を積み重ねていきます。

城山地域は日本遺産に登録された大谷石文化があり、古賀志山・多氣山・戸室山など自然豊かで、多種の農産物生産を手掛けており、市内最大の観光地でもあります。SDGｓの視点から、この地域の良さを認識し、地域の課題を考え、解決策を実践していくことで、将来の城山地域を支えていく人材育成が期待されます。

本校生徒には、「城山地域に愛情と誇りをもち、地域の未来を描き、地域の人々と共に切り拓くことのできる心豊かでたくましい生徒」になってほしいと願っています。その実現を目指し、SDGｓへの取組を進めていきます。